

JWF ファンド 2022 完了プロジェクト概要

Baka Khel地区における灌漑設備改修 (パキスタン)

- (1) 実施団体: HUMAN DEVELOPMENT ORGANIZATION (HDO) (#092)
- (2) 実施地: PAKISTAN
- (3) 費用: 5,500ドル (JWFファンド1,500ドル、受益者4,000ドル)
- (4) 受益者数: 2,500人
- (5) 実施地の水問題:
 - ① 対象地には灌漑用水路はあるものの、土を掘削しただけの状態であることから水の浸透が激しかった。
 - ② 肥沃な土地であるにも関わらず、現地の農家はせいぜい年に一度しか作物を収穫できず、十分な農業生産量を確保するには、十分な水の供給が急務であった。
 - ③ 高い資機材コストも相まって、灌漑設備を改修するだけの資金負担力が地元農家には乏しかった。



実施前の灌漑用水路



実施後の灌漑用水路

- (6) プロジェクトの主な活動
プロジェクト管理を担当する実施委員会の設立、灌漑用水路250フィートの改修、プロジェクト後における改修後の機能維持基金等を含めた運用体制づくり。
- (7) 持続可能な活動: 作った施設については、すべての受益者コミュニティが施設の運営と維持に責任を持つことが決定され、プロジェクトの経常費用はコミュニティが負担し、各農民は、維持管理費として年間1エーカーあたり1,000ルピーを拠出する。

JWF ファンド 2022 フォローアップ結果

Baka Khel地区における灌漑設備改修(パキスタン)

【現状】

- 建設された施設は、非常にうまく機能しており、現時点も大きな損害は発生していない。この施設は、急激な気候変動、水不足、食糧安全保障への対処法を提供している点で、食料生産に対する従来の大きな脅威であった気候条件の急激な変化に伴う、水不足、繰り返し起こる干ばつ、洪水、病気、飼料不足のかなりの部分を取り除いたと言える。
- プロジェクト対象地域の農民は、従来、河川に全面的に農作を依存していたが、利用可能な水源に対して適切な灌漑システムを得たことにより、乾季に灌漑用水が不足することがなくなった。貧しいコミュニティは安堵のため息をつき、灌漑水路の清掃の労力は減り、水は水路の末端まで十分に届き、土地に灌漑を行うことができるようになった。その意味で、この施設は、農作の諸問題の大半を解決したと言える。結果、コミュニティでは2つの作物を栽培しており、中には3つ目の作物である飼料や家庭菜園を栽培しているところもある。
- コミュニティの長老、農民メンバーで構成されるプロジェクト実施委員会(PIC)は、施設の管理者としてプロジェクト全体の管理、モニタリング、実施、資材調達に責任を持ち、生産支援のためのコミュニティ動員、定期的な維持管理費用のための年会費の徴収、費用負担の徴収を担当する等の活動を通してこの灌漑施設の持続可能性に貢献している。

【変化】

- 施設建設以前は、盗水や水利用に関してしばしば紛争が起きていたが、今はこの施設の建設によってこれらの問題は解決された。
- この施設は農業生産を通じて地域住民の収入を増やし、住民の生活水準を向上させた。
- この施設がきっかけとなり、受益者コミュニティの新たなリーダーたちが生まれた。彼らは、他の事柄について考えたり話し合ったりするゆとりができたので、国の開発問題や国内外の問題についても話し合う習慣もできるようになった。
- 生活水準が向上したことで、農民コミュニティ、特に女性は他の生産的な仕事をする自由時間を見つけることができるようになった。

【その他】

- (実施団体のコメントとして)健康と衛生は密接な関係があるため、今回の灌漑施設建設は、間接的にコミュニティの衛生面の改善にもつながっている。



現在の灌漑用水路



現在の灌漑用水路

JWF ファンド 2022 フォローアップ結果

[Baka Khel地区における灌漑設備改修（パキスタン）](#)

現場からの声（抜粋）



Umar Khanさん、(50歳、農業従事者)

私たちは普段から気兼ねなく施設を利用していますが、以前に比べ非常に楽になったと感じている。灌漑用水路の最後尾に十分な水が供給されるようになった。施設建設以前は、水の盗難をめぐる紛争が絶えなかったが、今ではコミュニティは平和と感じる。さらに、1エーカー当たりの農業生産が増加し、それが私たちの唯一の収入源であるため、とても幸せと感じている。



Malik Mir Zakim Khanさん、(60歳、コミュニティ長老、PICメンバー)

資金と人材はすべての受益者の連帯責任であり、受益者コミュニティを通じて年間維持費を徴収している。私たちは同じ部族に属しているため、資金面や人材面での問題はない。受益者は皆、泥だらけの灌漑用水路を掃除する重労働から解放され、とても喜んでおり、また、水の盗難をめぐる紛争もなくなった。さらに、豊作が続いており、コミュニティには莫大な収入が期待できるというフィードバックが来ている。彼らは喜んで年間維持費を支払っており、施設を維持・存続させるために役立っている。



Haji Khanさん、(45歳、牧羊者)

施設と水資源を利用することで、飼料作物の栽培を増やすことができ、家畜の数が倍に増えたのは、喜ばしい。他にもWASH研修を通じて、施設の維持・管理方法だけでなく、気候変動に強い多品目栽培、ビジネス開発スキル、政府部門との連携なども学んだ。多品目栽培により、今では気候変動に強い飼料作物が年間を通して家畜に与えられるようになった。現在、農民は政府の農業開発局や畜産局と定期的に連絡を取り合い、保護種子や質の高い品種改良を行うようになった。



Mamoor Khan Wazirさん、(30歳)

最近、1年に2、3種類の作物を栽培することができ、より多くの収入が人々にもたらされている。また、同コミュニティでは子供の就学率も向上した。このプロジェクトを通じて実現した全てがこのコミュニティにおけるポジティブな成果であり、水管理と農業生産にこのような素晴らしい成果をもたらしたNPOのHDOスタッフ、そしてJWFの寛大な支援に感謝したい。保健衛生は標準的な生活と密接な関係があるため、保健衛生も今後、数年間で積極的に改善されると思う。